

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

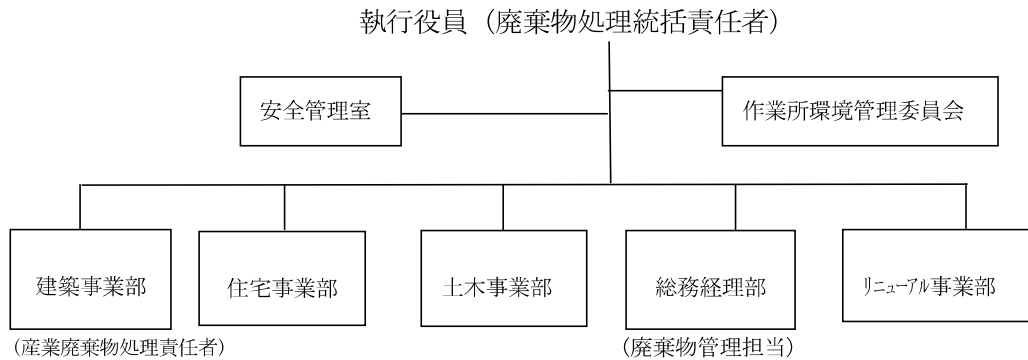
(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2019年 6月 26日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 愛知県刈谷市泉田町古和井 1 番地	
氏 名 角 文 株 式 会 社	
代表取締役 鈴木文三郎	
電話番号 0566-22-1811	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	角文株式会社
事 業 場 の 所 在 地	愛知県刈谷市泉田町古和井 1 番地
計 画 期 間	平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	D建設業06
②事 業 の 規 模	元請完成工事高 1 0 8 0 0 0 0 万円
③従 業 員 数	1 1 5 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	AS・CONがら・再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化。 木くず・再生処理業者に委託してチップとして再資源化。 石膏ボード・メーカー工場に持って行き再資源化。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙1のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙1のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・石膏ボード・金属くずは分別し保管している。作業構内が狭い現場はトン袋を使用し分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施予定無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定無し。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 3 0 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量		t
	再生利用業者への処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量		t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙2のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙 2 のとおり		
※事務処理欄			

(別紙1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(30年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトガラ	コンクリートガラ	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	排 出 量(t)	810	1046	242	152	59	273	106	98	7
	(これまでに実施した取組) アスファルト・ガラコンクリートガラ・木くず・金属くず・紙くず・石膏ボード・・・排出の抑制は難しいが、分別して再生処理業者に依頼している。 廃プラスチック・・・材料等の梱包材の簡素化。 汚泥・・・現場内で出来る範囲で水分を抜いてから搬出する。 ガラス・陶器くず・・・解体工事でガラスや瓦等は手作業で行なっている。(現物維持)									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトガラ	コンクリートガラ	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	排 出 量(t)	1500	1000	200	120	100	350	100	80	20
	(今後実施する予定の取組) 工事内容により、廃棄物排出量、種別が変わるが、産廃排出量目標をクリアできた。今年度も昨年同様の工事があると予想し30年度計画に近い目標をたてる。									

(別紙2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(30年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトガラ	コンクリートガラ	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	全処理委託量(t)	810	1046	242	152	59	273	106	98	7
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0	242	152	59	273	106	98	0
	再生利用業者への処理委託量(t)	810	1046	242	152	59	0	106	0	7
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)										
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	アスファルトガラ	コンクリートガラ	木くず	金属くず	紙くず	廃プラスチック	石膏ボード	ガラス・陶器くず	汚泥
	全処理委託量(t)	1500	1000	200	120	100	350	100	80	20
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	0	0	200	120	100	350	100	80	0
	再生利用業者への処理委託量(t)	1500	1000	200	120	100	0	100	0	14
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)										
・優良認定処理業者を優先で処理依頼する。 ・処理場の視察、チェックをする。										

※事務処理欄